

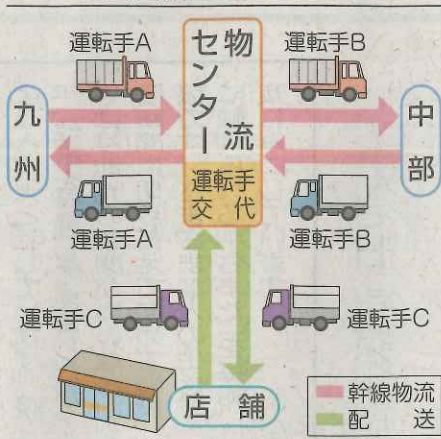
# 倉敷に物流センター整備

井倉運輸（新見市足見）は、瀬戸中央自動車道・水島インターチェンジ（IC）近くの倉敷市曾原に、倉庫を備えた物流センターを整備する。トラック運転手の残業規制で物流の停滞が懸念さ

## 井倉運輸

れる「2024年問題」をにらみ、運転手が交代しながら長距離ルートをつなぐ「中継輸送」の拠点として製造業や流通業者に売り込む。貸倉庫と運送を兼業する強みを生かして荷役作業や配送も請け負い、取引の拡大を目指す。（岸本渉）

### 中継輸送のイメージ



## 長距離輸送の中継拠点



物流センターは鉄骨一部2階延べ約4500平方メートルで、水島ICの東約300メートルに購入した約7500平方メートルの敷地に整備する。倉庫部分(約3000平方メートル)は常温の貸しスペースで計3区画を用意する。1回当たりの配送距離を短くしたい顧客にアピールする。

来年4月からの改正労働基準法の適用で、トラック運転手の残業上限が年960時間に規制される。1人当たりの輸送距離が実質的に短くなり、野村総合研究所(東京)の推計によると、対策を講じなければ25年には全国の荷物総量の約28%、30年には約35%が運ばなくなるとされる。運送業者だけでなく、トラックを利用する荷主企業にとっても物資の供給網が乱れる恐れがあり、対応が求められる。

例えば、中部の工場で作った製品を岡山経由で九州まで輸送する場合、九州方面に向かうトラックと中部に向かうトラックを組み合わせ、センターで車両を交換すれば、どちらの運転手もセンターから出発地点に戻る。通常なら往復で2日かかる長距離輸送だが、日帰り勤務が可能となる。同社はセンターの整備に伴い、幹線区間の輸送も請け負う構えだ。

センターでは、倉庫での保管に加え、搬入や在庫管理、伝票に従って物資を集めるピッキング、梱包などの荷役作業、店舗といった終点までの配送も一括して引き受ける。自社で一貫して対応し、トラックの出発のタイミングに合わせて出荷準備を行うことで、トラックの順番待ちをなくし、「荷待ち時間」の解消を図れるという。

同社は自動車部品メーカーを回って集荷し、自動車生産のタイミングに必要な部品を完成車工場に納入する「引き取り物流」を展開しており、こうしたノウハウを生かす。

物流センターは年内にも着工し、25年1月ごろの稼働を予定する。林田展周社長は「中四国エリアの配送を広くカバーできる立地。貸倉庫のほか、輸送、倉庫内業務といった強みをフルに発揮し、顧客の幅広いニーズに応えていきたい」と話している。

同社は1965年創業、69年設立、資本金8千万円、売上高34億3400万円(23年3月期)、従業員約220人。

25年稼働予定

荷役、配送にも対応

### 23年産水稻作況指数

## 岡山、香川「平年並み」

広島は「やや良」

は一転して高温多り、生育が促されたりのもみ数は多た。もみの成熟具合「登熟」も良好で、みに落ち着いた。10ヶ当たりの収量は34キ、産より10キ減の5麦や大豆、飼料用た他作物への転換作付面積が減ったあり、主食用や加った県全体の収穫万2900トと前り4300ト(3地域別では、中たりの収量は34キ(前年101)で、7キ。南部は10098)で、10ヶ当た

中国四国農政局(岡山市北区下石井)が12日発表した2023年産水稻の作況指数(確定値)は、岡山県が前年と同じ99となり、3年連続で「平年並み」となった。広島県は「やや良」で103(前年比2増)。香川県は「平年並み」の101(2減)だった。(5面関連)

3県とも指数は前回発表(10月25日現在)と同じ。岡山県では5月下旬から7月中旬にかけて、断続的に雨や曇りの日が続き、茎が枝分かれする「分げつ」が進まなかった。7月中旬以降

1890	54
毛肉	2174
食肉	1843
和	1693
ス	1485
メ	1775
5	1598
4	1817
3	1617
2	2313
1	1574
0	1485

B5	B4	B3	B2
上	中	並	等外
608	592	499	226
(全農大阪支所、荷受)			
高	加	平均	安
266	240	240	234
272	245	250	239
297	250	270	244
277	270	250	264
275	250	195	244
209	195		170

タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ
タ	ブ

鶏卵	先値
L	M
S	S
S	S
S	S
S	S
S	S
S	S
S	S
S	S

1890	54
毛肉	2174
食肉	1843
和	1693
ス	1485
メ	1775
5	1598
4	1817
3	1617
2	2313
1	1574
0	1485